

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 (2) 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 (3) 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇第3学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携では「本校からの連絡文書は、保護者に届けている」生88.1%→87.9%、保82.9%→65.2%、「通信やホームページ、一斉配信メールで、速やかに伝えている」生81.4%→86.1%、保82.7%→65.2%と生徒と保護者の意識の違いがあり、新型コロナの影響が家庭内での情報共有に何らかの影響を及ぼしていると思われる。 ・進路指導については「具体的な進路指導が行われている」生78.4%→80.5%であるが、「保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」保70.3%→54.0%となっており、昨年度に引き続き保護者に対しても進路目標を達成できるよう取組みをしっかりとしていく必要がある。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇進路意識を高め、進路実現に向け意欲的に取り組む。 ◇生徒一人一人にあった自立を目指す。 ◇社会で通用するルールやマナーを身につける。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学年団の連携 ・進路指導部との連携指導 ・生徒指導部（教育相談含む）との連携指導 ・学科・コース・系列との連携指導 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 就職・進学ガイダンス (2) 就職・進学希望者面接練習 (3) 卒業発表会に向けての取り組み (4) 一般常識テスト 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 就職・進学希望者全員の進路決定 (2) 学校行事での生徒の様子 (3) 常識テスト・定期考査・成績・出欠状況 (4) 生徒の意識・行動 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会の実施 ・身なり指導の実施 ・一般常識テストの実施 ・紫翠祭や球技大会への取り組み ・卒業発表会への準備 ・学年通信の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の進路を実現するために学年団と進路指導部が連携を取りながら指導できたか。 ②社会人としてのルールやマナーを身に付けさせたか。 ③最終学年として卒業に向け生徒の意識向上が図れているか。 	<p>A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D</p> <p>A <input type="radio"/> B <input checked="" type="radio"/> C <input type="radio"/> D</p> <p>A <input type="radio"/> B <input checked="" type="radio"/> C <input type="radio"/> D</p>
11 成果	<p>○就職希望者に対して、進路指導部、学科やコース・系列と連携をとりながら生徒個々の持ち味を生かした進路実現に取り組ませることができた。進学希望者に対しても、生徒の興味関心を生かし、進学先の内容や自己の能力に応じた進路実現に取り組ませることができた。</p> <p>▲進路決定以降遅刻が増え、社会的に未熟な部分が残りと、最高学年としての役割を十分に果たせなかった。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D</p>
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・就職や進学試験で不合格となった生徒に対する指導を進路指導部と連携し進路決定につなげていき、全員が進路を決定することが必要である。 ・生徒の家庭状況・体調なども踏まえて遅刻防止に努めることが必要である。 ・卒業発表会などでの活躍の場を利用し、生徒の達成感につなげる。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月14日

【意見・要望・評価等】

・卒業発表会では将来の進路に合わせて自ら探究し、学科の特色を生かした発表会になった。楽しく学ぶ生徒の姿が浮かんでくる。